

2024度
町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト
(通称：町プロ)
活動報告

～高齢者の在宅療養を支えるために～
医療・介護をはじめとした多職種が連携し、地域包括ケアシステムの構築を目指すことにより、いつまでも住み慣れた地域で
安心して暮らせるまちづくりを推進します。

1 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会について

「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」を3回開催しました。

(1) 開催日（全3回）

- 第1回 2024年 5月23日（木）
- 第2回 2024年 10月31日（木）
- 第3回 2025年 2月17日（月）

(2) 主な協議事項

- 第1回
 - ・2024年度多職種連携研修会のテーマについて
 - ・アドバンス・ケア・プランニングの普及のための取組について
 - ・救急医療情報キットの作成方針（案）について
 - ・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会への新規加入希望団体について
- 第2回
 - ・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会設置要項の改正について
 - ・アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会部会員の選出及び今後の取組について
- 第3回
 - ・アドバンス・ケア・プランニング普及啓発部会の目標及び取組内容について
 - ・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト実施方針（2025～2027年度）（案）について

(3) 主な報告事項

- 第1回
 - ・2023年度町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの活動報告について
 - ・2023年度医療と介護の連携支援センターの実績について
 - ・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト10周年記念講演会の開催について 他
- 第2回
 - ・第23回多職種連携研修会（市民向け）の開催結果について
 - ・救急医療情報キットの配布について
 - ・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト10周年記念講演会の開催結果及び記念品の配布について 他
- 第3回
 - ・町田市患者や利用者等からのハラスメント相談窓口事業研修会開催結果について
 - ・第24回多職種連携研修会（専門職向け）の開催について 他

【資料 1】

2 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト10周年記念講演会について

2013年に発足した町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会が2023年に10周年を迎えました。今後も、医療職と介護職のさらなる連携を図るため、10周年を記念した記念講演会を開催しました。

- (1) 開催日時
2024年7月13日（土）18:00～19:30
- (2) 会場
レンブラントホテル東京町田
- (3) 内容
 - ・講演
『在宅医療26年の経験から 宮古島の在宅医療』
医療法人鳥伝白川会ドクターゴン診療所 医師 泰川 恵吾 氏
 - ・記念品デザイン投票
町プロ参画団体会員が所属する事業所に配布する10周年記念プレートのデザインを投票で決定しました。
- (4) 参加者数
231名



町田・安心して暮らせる
まちづくりプロジェクト

参画事業所

町プロ 発足10周年記念

「町プロ」の取り組みについては
こちらから





3 多職種連携研修会について

医療・介護等のサービス提供者がスムーズに連携するチームケアの実現を目的に医療・介護関係者を対象とした専門職向け研修会を1回、在宅療養に関する知識の普及を目的とした市民向け研修会を1回開催しました。

(※これまでの実績)

年度		テーマ
2013	第1回(2014年3月)	「医師会と介護事業所等の連携強化」
2014	第2回(2014年9月)	「歯科医師会、医師会と介護事業所等の連携強化」
	第3回(2015年3月)	「認知症初期集中支援チームの活用から医療機関・介護保険サービスにつなげるまでの連携のあり方」
2015	第4回(2015年8月)	「認知症ケアにおける多職種連携」
	第5回(2016年2月)	「救急車の適正利用について」
2016	第6回(2016年9月)	「みんなで知ろう 町田の医療と介護」
	第7回(2017年2月)	「介護現場における感染症対策」
2017	第8回(2017年9月)	「高齢者の運転について」
	第9回(2018年3月)	「住み慣れたわが家で自分らしく生きたい ～市民みんなで支える在宅療養～」
2018	第10回(2018年8月)	「消化器がんについて」
	第11回(2018年12月)	「在宅療養とおかねのはなし～脳卒中で倒れたら～」
2019	第12回(2019年8月)	「在宅の医療行為における多職種連携について ～喀痰吸引を中心に～」
	第13回(2019年12月)	「救急車が必要なのはどんな時？ ～救急車を上手に使いましょう～」
2020	第14回(2020年11月)	「しっかり服薬するために ～多職種連携でできること～」
	第15回(2021年3月)	「薬剤師に聞いてみよう！ ～くすりと上手につきあう方法～」
2021	第16回(2021年8月)	「目指せ！受診率60% ～町田市の成人健康診査及び各種検診～」
	第17回(2022年1月)	「使おう！わたしの受診券 ～町田市の成人健康診査及び各種検診について～」
2022	第18回(2022年8月)	「医療・介護現場のカスタマーハラスメント対策 ～自分の身を守り安心して継続支援を行うために～」
	第19回(2023年2月)	「測って学んで、延ばそう健康寿命！ ～町田市のフレイル予防について～」
2023	第20回(2023年8月)	「新型コロナ感染症の現場での振り返り ～その時何があったのか。多職種連携協働で何が出来たのか。これから何が必要なのか。～」
	第21回(2023年12月)	「ゼロから知ろうアドバンス・ケア・プランニング(人生会議) ～アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)説明できますか？～」
	第22回(2024年3月)	「今日を知って明日を語ろう！ ～フレイル測定と人生会議～」

● 第23回多職種連携研修会(市民向け)

- (1) 開催日時
2024年10月12日(土) 13:30～16:30
- (2) 開催場所
町田市堺市民センター
- (3) テーマ
「今日を知って明日を語ろう!～フレイル測定と人生会議～」
- (4) 研修内容
 - ・講演
『活用しよう 人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)
～思いをつないで、安心して暮らしていくために～』
日野原記念ピースハウス病院 診療部長 医師 羽成 恭子 氏
 - ・フレイル測定会
開口力測定、舌圧測定、体組成測定 ほか
- (5) 参加者数
53名



● 第24回多職種連携研修会(専門職向け)

- (1) 開催日時
2025年3月8日(土) 14:00～17:00
- (2) 開催場所
町田市役所10階
- (3) テーマ
「現場で活かせ!人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」
- (4) 研修内容
 - ・講演
『現場で活かせ!人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)』
日野原記念ピースハウス病院 診療部長 医師 羽成 恭子 氏
 - ・グループワーク
- (5) 参加者数
72名



4 救急医療情報キットの見直しについて

高齢者の安全・安心を確保することを目的に、「かかりつけ医」「緊急連絡先」などの情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで、万が一の救急時に備えるツールです。

現状の確認と内容の見直しを行うため、2023年2月に部会を立ち上げ、検討を行い、2024年10月から以下のとおり、新たな運用を開始しました。

(1) 概要

これまで75歳以上の高齢者を対象に配布を行っていましたが、より多くの方にキットをご活用いただくため、2024年10月から、キットの作り方や作成に必要な用紙の配布を開始しました。これにより、ご自身で筒型の容器を用意するだけで、どなたでも簡単にキットを自作できるようになりました。

(2) 対象者

【配布用救急医療情報キット（プラスチック製筒型キット）】

65歳以上の単身者（日中独居の方含む）

※75歳以上の方から優先的に配布

【自作用救急医療情報キット】

町田市在住で救急医療情報キットの作成を希望する方

(3) 見直し内容

・シートの項目・対象者・運用体制・自作キットの周知 など



5 喀痰吸引研修について（参考）

「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正（注1）により介護を必要とする方に対し安全かつ適切に痰（たん）の吸引等を行うことができるホームヘルパーなどを養成することを目的に、町田市医師会と協力して実施しています。町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトでは、研修対象事業者への周知を行いました。

（注1）痰の吸引等について

医師や看護師に限定されていた、痰の吸引等について一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られている等、一定の条件の下で痰の吸引等の行為を実施できるようになりました。

（H24.4「社会福祉士および介護福祉士法」一部改正により）

(1) 開催日

2025年2月8日（土）、9日（日）

(2) 研修場所

町田市医師会館

(3) 研修概要

特定の喀痰吸引等の医療行為が実施可能となる第3号研修

(4) 参加者数

13名

参加者数累計 357名

（うち、実地研修実施人数累計 208名）

6 町田市患者や利用者等からのハラスメント相談窓口事業について（参考）

在宅療養に携わる医療や介護の専門職がカスタマーハラスメントをはじめとした患者・利用者やその家族とのトラブルに対する適切な対応方法を習得することを支援し、安心して業務を行うことができる環境を整えることを目的とし、2023年4月から開始した事業です。

電話やメールでの相談窓口の設置、トラブルに対する同席対応、医療職や介護職の対応能力向上のための研修を行っています。

町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトでは、相談窓口の利用促進や、ハラスメント対応に関する研修の周知を行いました。

● 相談窓口

(1) 相談件数

15件（2024年4月1日～2025年3月31日）

(2) 相談種別内訳

精神的10件、肉体的暴力1件、その他4件

● 同席対応

(1) 同席件数

1件

● 専門職への研修

(1) 開催日時

①2024年11月18日（月）18:30～20:30

②2024年12月16日（月）～2025年1月27日（月）

(2) 開催場所

①町田市役所3階

②アーカイブ配信

(3) テーマ

「医療・介護現場でのクレーム（不当要求）等に関するトラブルの対応策・未然防止策を学ぶ

～警察に対する相談要領や警察の対応内容を学び、トラブル対応能力の向上を図る～」

(4) 内 容

・講演

『・患者、利用者からのクレーム等に関する傾向

・ウィ・キャンの相談窓口で対応できる範囲について

・警察との連携による好事例について』

株式会社ウィ・キャン 代表取締役 濱川 博昭 氏

『弁護士による、クレーム（不当要求）等に対する法的な考え方』

アルファパートナーズ法律事務所 弁護士 周 将煥 氏

『町田警察署からの講義』

警視庁町田警察署生活安全課生活安全相談係係長 警部補 浅沼 誠 氏

・個別相談会

(5) 参加者数

①21名

②73名

7 その他

名称	概要	作成・運用開始
Dr. Link 	医師がケアマネジャーからの連絡や相談をスムーズに受けることができるように、あらかじめ医師が対応可能な曜日、時間帯、相談方法などをリスト化してケアマネジャーが医師と連絡や相談がしやすい環境をつくるケアマネタイムの町田市版です。ケアマネジャーや高齢者支援センターが活用しています。	2015 年 3 月～モデル運用 2017 年 4 月～運用
ケアマネサマリー 	ケアマネジャー等が医療機関に利用者に関する情報を提供するため、受診または入院の際に、介護保険サービスの利用者や家族の状況から治療及び退院時に積極的な支援が必要であると判断した場合に使用しています。 2018 年度の介護保険法改正、医療介護報酬改定に合わせて様式の見直しを行い、現在のシートで運用しています。	2016 年 11 月～運用 2018 年度改訂 (2019 年 3 月～運用)
退院調整シート 	退院支援において、ケアマネジャーの経験や知識に関わらず、医療機関から必要な情報を漏れなく、効率よく確認できるように、在宅療養のために必要な情報の項目をまとめたシートです。ケアマネジャーが病院スタッフからヒアリングする際に使用しています。 2020 年 1 月～2 月にシートの利用状況や課題、改善点を把握するために実施したアンケート結果を踏まえて、2020 年度に改定を行い、現在のシートで運用しています。	2018 年度作成 2019 年 7 月～試験運用 2020 年度改訂
シンボルマーク 	町プロ推進協議会に参画する事業者の連携を強化するとともに、町プロの取組をより多くの方々に知っていただくため、公募を経て決定したシンボルマークです。現在は、町プロのステッカーやお薬手帳カバー等に印刷し、広報に活用しています。	2018 年 4 月～検討 2018 年 12 月～運用
地域資源マップ 	「地域の医療・介護サービス資源情報の共有化」を推進し、医療機関や介護事業所等が連携するための地域資源情報を手軽に取得できる環境を作るため、インターネット上で閲覧出来る医療・介護資源マップを公開しています。	2019 年 6 月～検討 2020 年 4 月～運用
町プロ ポータルサイト 	医療と介護の関係者が、町プロの活動について理解を深めるとともに、在宅医療・介護連携に必要な情報を共有するため、ポータルサイトを立ち上げ、町プロの活動や地域資源マップ等の様々な情報を掲載しています	2020 年 4 月～

【資料 1】

新型コロナウイルス感染症への対応	医療・介護の専門職に感染症対策等の必要な情報を迅速にお伝えするため、町プロ多職種連携研修会の緊急企画として、新型コロナウイルス感染症への対応に関する動画を作成し、町プロポータルサイトで現在7つの動画を公開しています。	2020 年 6 月～順次公開
町プロオリジナルお薬手帳カバー 	在宅高齢者の生活を支える上で、ご本人と医療機関、薬局、ケアマネジャー、ホームヘルパー、訪問リハビリテーション等の専門職が日常の気づいたことなどをお薬手帳に記載し、情報共有を行うことができます。 またカバーには高齢者あんしんキーホルダーの情報や、ケアマネジャーなどの名刺を入れるポケットが付いており、在宅高齢者の緊急連絡先等の確認にも役立てています。	2021 年 11 月～配布